

### 当社の事業

#### 1、旧来の事業

昭和31年頃に海の汚染を見て、それを改善する為に無洗米の開発を目指し、平成3年に副産物の『米の精』とともにBG無洗米を完成し、全国各地の米穀業者と連携して、無洗米の普及と、副産物の「米の精」をもって循環農業を推進する。

#### 2、中期の事業

我が国は病人やメタボが溢れ、国の医療費が40数兆円に膨張していることを知り、このままでは国の財政が破綻しかねない。しかし医療費がほぼゼロであった昭和30年頃から何故このように病人が増えたりメタボになったかの主因は、昭和30年頃から普及し始めた新機構の精米機によって、明治時代におきた精米法の変革から生じた「江戸煩い」の時のように、人々が根こそぎ糠を取り除いた、炭水化物だけの米を摂取しているための「第2の江戸煩い事件」との仮説をたて、それを解決するために、金芽米を開発し世に出した。

そしてその数年後、自らの糖尿病を含む多くの病が治癒できたことと、従業員の医療費が全国平均や同業者平均の約半分であることを知ったことから、仮説が正しかったことを確信し、一層健康効果を高めたロウカット玄米を開発し世に出した。

#### 3、近年の事業

その後は、金芽米やロウカット玄米を3年以上常食している多くの人々から、健康効果と実年齢よりも若く見られる若々しさを知らされ、一層確信を深めた当社は、NHKの海外版テレビ放映のような次のような循環農業（産業）を立ち上げている。結果として、我が国の病人と医療費削減の実現を果たすように、末尾添付のような展開をしている。

# 当社の循環農業（産業）事業

①全国各地の米穀業者は米の生産者より、玄米を買い取り、それを金芽米やロウカット玄米などのBG無洗米に加工し、それを外食企業や一般消費者に売り、

②同時に米穀業者はリンを多く含み公害の基になっていた「米のとぎ汁」を、リン鉱石の枯渇を防ぎリンの陸上循環を果たすために、副産物の「米の精」に変え、全国の農協などを介して多くの農家に売り、

③農家は「米の精」によって土壌菌を増やし、少し高価だが健康によい農作物を消費者に売り、

④消費者は病気を治癒したり予防出来る効果を得られ、少し高価だが、継続してBG無洗米を米穀業者から購入し、

⑤農家も収入が増え「米の精」を継続して米穀業者から購入するだけでなく、生産した玄米を全国の米穀業者に売り、

**人の健康や若々しさに  
とっても寄与するコメを発見。  
コメ（白米を除く）は病気を  
防ぐ美味しい漢方薬**

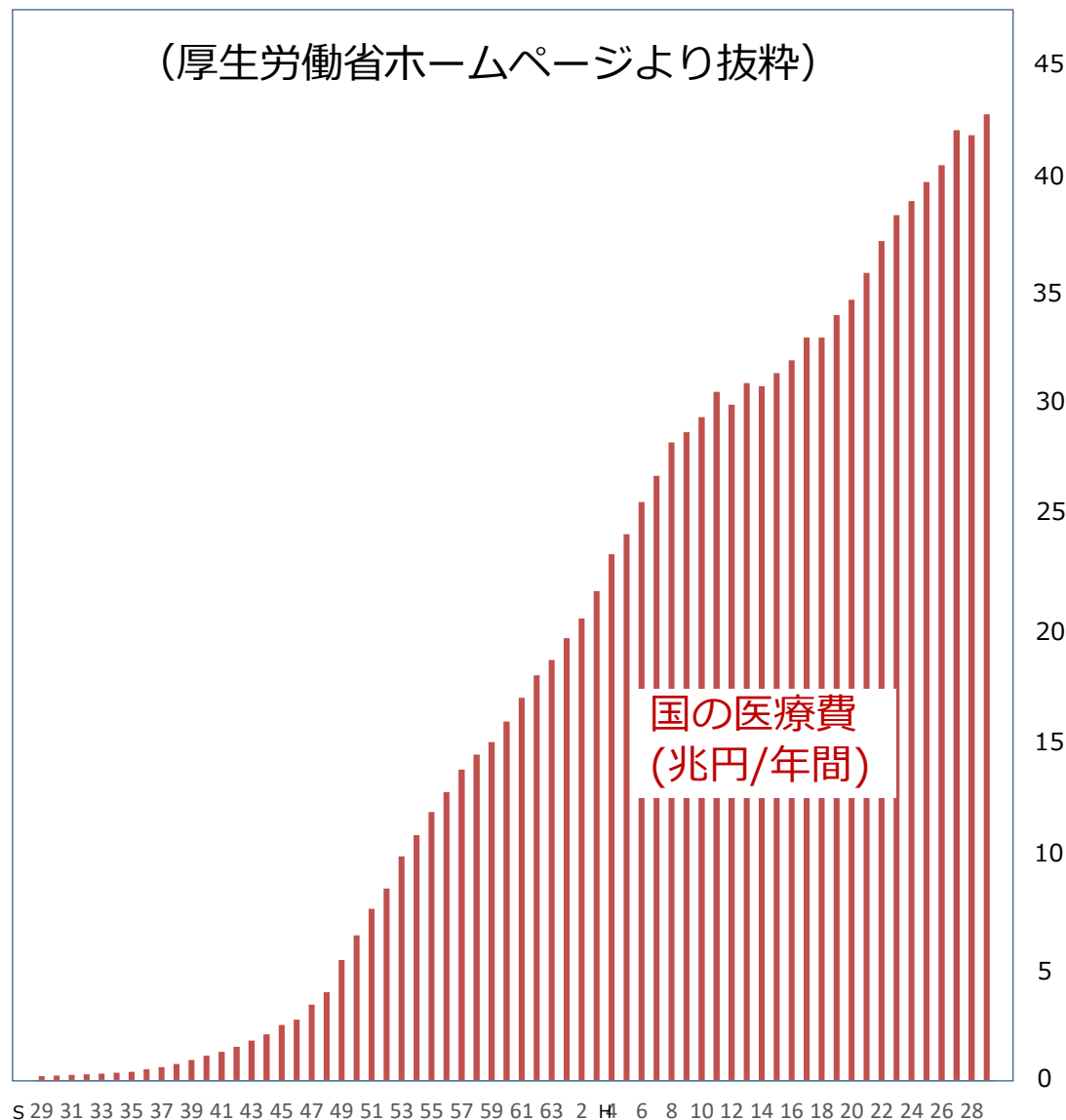
東京農業大学 客員教授  
雑賀 慶二

昭和30年頃までは、  
ほとんどゼロであった医療費がなぜ巨大化したのか？

何故病人が増えたのか？

この医療費を減らさない  
と国の財政が破綻する。

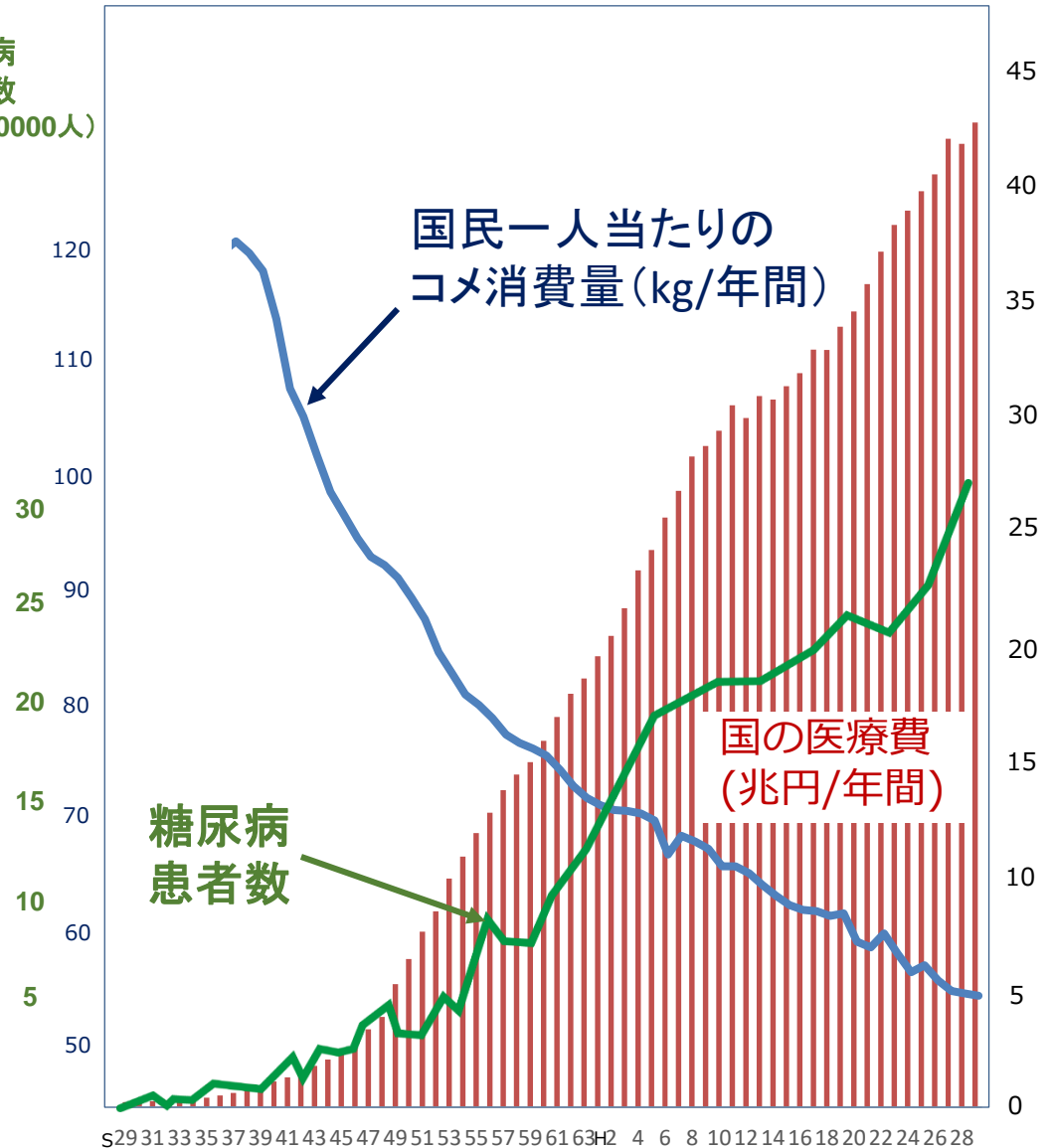
それを解決するのが急務  
である。



「国の医療費」 (厚生労働省ホームページより抜粋)  
 「糖尿病患者数」 (糖尿病療養指導ガイドブック2018より抜粋)  
 「コメ消費量」 (農林水産省ホームページより抜粋)

病人が増えたのは糖尿病などの文明病である。しかし、この表のとおり、米を食べてたから糖尿病になると云うことではない。

糖尿病  
患者数  
(×100000人)



では、昭和30年頃から病人が増えた原因は何か？

それは昭和30年頃から始まった

①精米機の進化（実際は悪化）。

それが最大の原因である。

②自動車の普及（運動不足）。

③今回発見した農薬及び化学肥料による

米の栽培方法の進化（実際は悪化）。

しかし、それらの文明病は西洋医学での対処は  
不向きである。